

保育所における障害児や
いわゆる「気になる子」等の受入れ実態、
障害児保育等のその支援の内容、
居宅訪問型保育の利用実態に関する
調査研究報告書



保育所における障害児やいわゆる「気になる子」等の受入れ実態、障害児保育等のその支援の内容、居宅訪問型保育の利用実態に関する調査研究報告書

序

本報告書は、国庫補助事業として日本保育協会が実施した「平成27年度保育所における障害児やいわゆる「気になる子」等の受入れ実態、障害児保育等のその支援の内容、居宅訪問型保育の利用実態に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

現在、保育所は気になる子や障害児の保育において重要な役割を担っていますが支援の拡充に困難を感じているところです。そこで、いわゆる「気になる子」や障害児の受入実態について保育所への調査票調査を行い課題と対応を分析・考察いたしました。

また、障害児保育の啓発と資質向上の参考に供するため、障害児保育に関する好事例を有する保育園に対してヒアリング調査を実施いたしました。

さらに平成27年度より開始された居宅訪問型保育（今年度は4ヶ所）へのヒアリング調査を行いました。

これらの調査研究結果をもとにして各調査研究委員に執筆頂き本書が完成いたしました。

本書を、今後の保育所における障害児保育やいわゆる「気になる子」等の保育実践に際して参考にしていただければ幸いです。

このたびの調査研究事業の実施にあたりまして、小林芳文委員（和光大学名誉教授・横浜国立大学名誉教授）、飯村敦子委員（鎌倉女子大学教授）、志水武史委員（株式会社日本総合研究所 研究員）、小林保子委員（鎌倉女子大学教授）、大橋さつき委員（和光大学准教授）、竹内麗子委員（清水台保育園園長）の各研究委員の方々にご尽力いただいたこと、また、調査票調査対象保育所の皆様及びヒアリングにご協力頂きました関係の方々のご協力に対しまして深甚なる感謝の意を表するものであります。

平成28年3月

社会福祉法人 日本保育協会

保育所における障害児やいわゆる「気になる子」等の受入れ実態、障害児保育等のその支援の内容、居宅訪問型保育の利用実態に関する調査研究報告書

目次

序

第1章 調査の概要	小林保子.....	1
第1節 調査の目的		
第2節 調査の方法と内容（全体）		
第3節 調査の方法と内容（アンケート調査）		
第4節 調査の方法と内容（ヒアリング調査）		
第5節 調査の方法と内容（検討会）		
第2章 アンケート調査の結果	志水武史.....	9
第1節 調査結果の概要		
第2節 調査の結果		
2.1. 保育所の施設状況		
2.2. いわゆる「気になる子」の受け入れや実態、支援の状況		
2.3. 「障害児」の受け入れや実態、支援の状況		
2.4. いわゆる「気になる子」や障害児保育に関する職員の資質向上の取り組み		
2.5. いわゆる「気になる子」や障害児対応の専門機関との連携状況		
2.6. いわゆる「気になる子」や障害児保育に関して地域や学校との連携状況		
第3章 ヒアリング調査の結果		
第1節 ヒアリング調査の概要.....	飯村敦子.....	67
第2節 ヒアリング調査の結果		
2.1. 神奈川県内保育園におけるヒアリングの結果		
2.1.1. 小桜愛児園（横浜市）.....	小林保子.....	68
2.1.2. K公立保育園（川崎市）.....	大橋さつき.....	74
2.1.3. 渚野辺保育園（相模原市）.....	小林保子.....	79
2.2. 福井県内保育園におけるヒアリングの結果		
2.2.1. 清水台保育園.....	飯村敦子.....	84
2.2.2. 玉ノ江保育園.....	飯村敦子.....	90
2.2.3. 鹿苑第一・第二保育園.....	飯村敦子.....	95
2.2.4. 杉の木台保育園.....	飯村敦子.....	99
2.3. 居宅訪問型保育に関するヒアリングの結果.....	小林保子.....	103
第4章 調査結果のまとめ	小林芳文.....	109
第1節 いわゆる「気になる子」や障害児等の受入や支援に関する保育所の現状と課題 （アンケート・ヒアリング調査の結果から）		
第2節 いわゆる「気になる子」や障害児等の受入や支援に関する保育所の課題解決の方向性		
参考資料：アンケート調査票		121

